

宮古消防署川井分署 700 日間無火災達成

宮古消防署川井分署管内で 700 日間無火災(令和6年3月11日から令和8年2月8日まで)を達成し、川井分署長に表彰状が交付されました。

無火災表彰は、管轄する人口に応じて定められた期間、無火災であったことを称え消防署及び分署を表彰するものです。



畠山毅消防長から、「川井分署管内は、山裾深くまで住宅が点在し、ひとたび火災が発生すると、山林への延焼危険が高い地域も多くある。無火災を継続していることは、署員や消防団員の日頃の取り組みの成果である。これから林野火災が多く発生する時期を迎えるが、受賞を契機としてさらに火災予防の実効性を高める取り組みを展開し、無火災の継続を期待します。」との言葉が伝えられた。

○無火災への取り組み

川井分署では、立入検査での指導により防火対象物の火災を防止するとともに、消防団、婦人消防協力隊等の自主防災組織と一体となり火災予防活動に取り組んでいます。さらに、川井地域包括支援センター、川井駐在所及び川内駐在所と協力し住民に寄り添った防火指導を行っています。

伊藤明弘川井分署長は、「地域の皆様のご協力により、無火災を達成できた。これからも火災予防の啓発活動と火災に備えた実践的な訓練を継続し、慢心することなく、一日でも長く無火災を継続するよう努めたい。」と決意を新たにしました。